

東京圏における訪日外国人の観光と 鉄道利用の実態

Tourism and Rail Usage of Foreign Visitors
in Tokyo Metropolitan Area

～外国人の鉄道利用人数～

研究員 細野 晃

1. 背景と目的
2. 既存の調査/統計の整理
3. 東京圏における訪日外国人の観光実態
 - ① 宿泊状況（宿泊旅行統計調査）
 - ② 訪問者数（国際航空旅客動態調査）
 - ③ 主要な訪問地と訪問箇所数（訪日外国人消費動向調査）
4. 訪日外国人の訪問者数と鉄道利用者の概数の推計
5. 今後の課題

はじめに

- 本研究は、政策研究大学院大学 森地政策研究センター所長を委員長とし、運輸総合研究所で実施している「今後の東京圏を支える鉄道のあり方に関する調査研究」の一環である。

2012年～ 調査研究

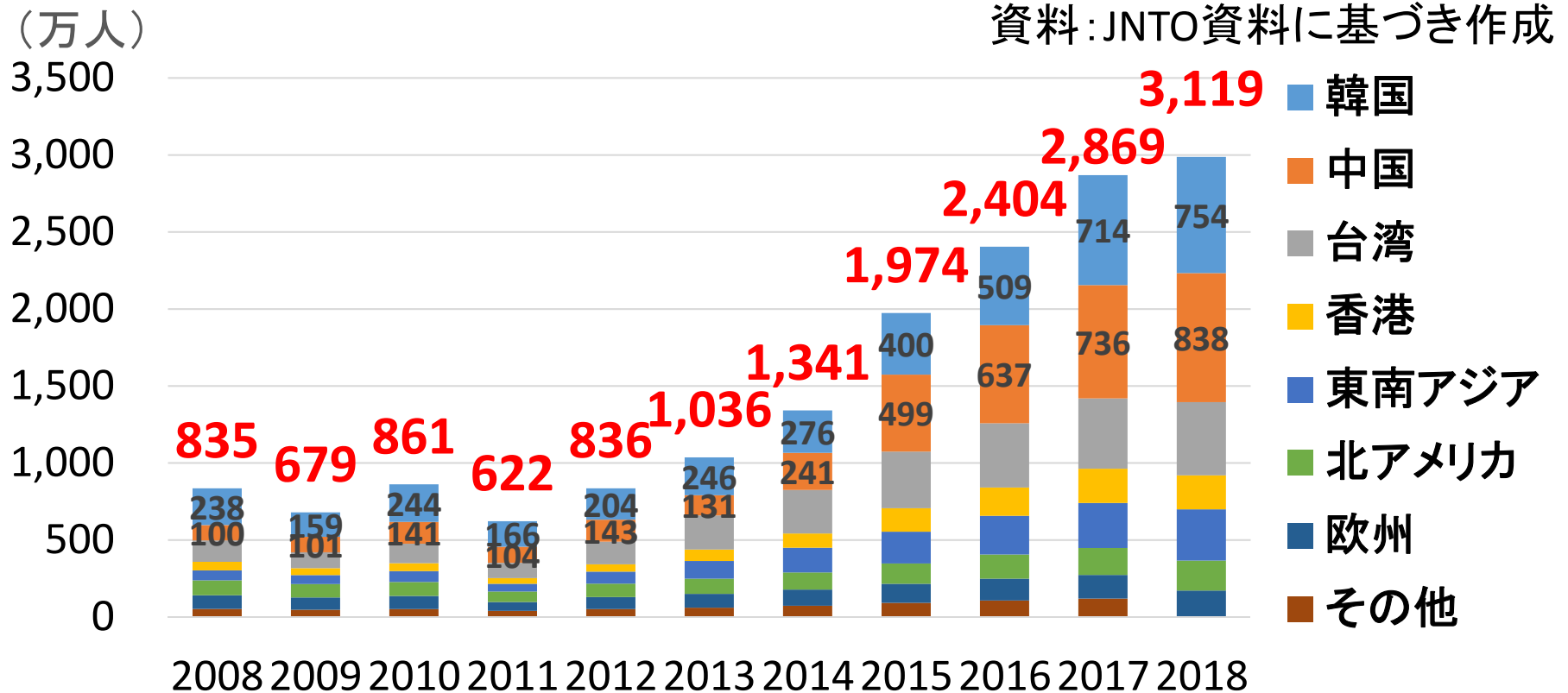
「今後の東京圏を支える鉄道のあり方」

- 人口と鉄道需要の予測
- 鉄道とまちづくり、交通相互の連携方策（都心部、郊外部）
- 大規模施設（大学、団地、店舗）の立地動向と鉄道に及ぼす影響
- 訪日外国人の実態と鉄道利用者の推計
- イノベーションが鉄道事業に及ぼす影響
- 鉄道沿線間の居住地選択動向の比較と選択要因の分析

委員長 森地 茂 政策研究大学院大学政策研究センター所長
学識者、私鉄6社、国土交通省

背景と目的

- 訪日外国人の数は、過去最高を数年間連続で更新
- 今後の目標 <2020年 4,000万人> <2030年 6,000万人>
- 考えられる要因は様々
(日本国外向けPR活動・世界の経済状況・日本のビザ緩和など)



- 急増する訪日外国人は鉄道経営においても重要な要素。



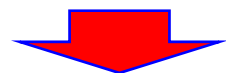
- 人数・国籍・文化などに応じた訪日外国人への対応
- 大幅増加によるラッシュや混雑率への影響



- 路線別・駅別に「利用者数・国籍」などの情報が整理したい



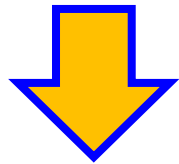
- 訪日外国人と鉄道利用に関するデータが少ない



既存の統計から訪日外国人の宿泊地・訪問地を分析し、東京圏(1都3県)の鉄道利用者数の概数を推計する。

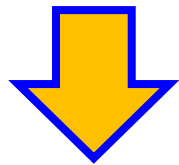
※ 1 都 3 県 東京・埼玉・千葉・神奈川

1. 既存の統計・調査の内容整理



- 宿泊旅行統計調査
- 国際航空旅客動態調査
- 訪日外国人消費動向調査

2. 訪日外国人の旅行実態の分析



- 入国者数
- 宿泊地、滞在期間
- 訪問地
- 利用交通機関

3. 東京圏における訪日外国人の鉄道利用者数の推計

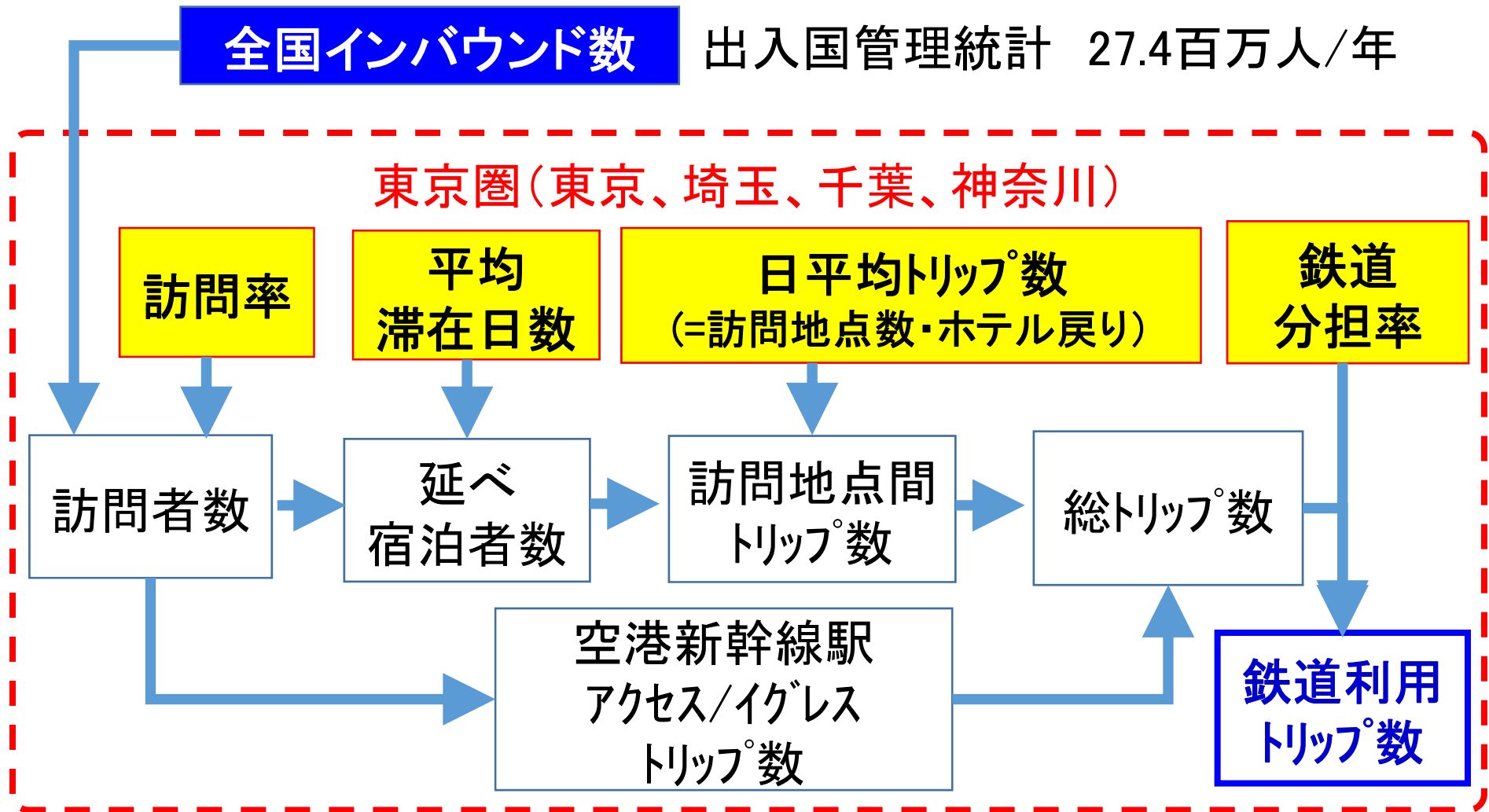
1. 背景と目的
2. 既存の調査/統計の整理
3. 東京圏における訪日外国人の観光実態
 - ① 宿泊状況（宿泊旅行統計調査）
 - ② 訪問者数（国際航空旅客動態調査）
 - ③ 主要な訪問地と訪問箇所数（訪日外国人消費動向調査）
4. 訪日外国人の訪問者数と鉄道利用者の概数の推計
5. 今後の課題

既存の調査・統計の内容整理

国土交通省等が主体となって実施している様々な統計について、政策研究大学院大学と共同研究することで、一般には公表されていない個票データを取り寄せ分析した。(平成29年データを分析)

統計・調査名称		判別する事項と課題
①	出入国 管理統計	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 国籍別の出入国者数が判明する。 ➤ 地点別の訪問者数や滞在日数は把握できない。
②	宿泊旅行 統計調査	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 地点別の外国人延べ/実宿泊者数が分かる。 ➤ 民泊など集計対象外の宿泊施設もある。
③	国際航空旅客 動態調査	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 目的、入出港、訪問地、宿泊日数、交通機関などが分かる。 ➤ ほぼ都道府県単位での行動把握であり、大まかな規模感での集計となる。
④	訪日外国人 消費動向調査	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 目的、入出港、訪問地、宿泊日数などが分かる。 ➤ ③より詳細な訪問地点の把握が可能。
参考	FF-DATA	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ③と④の調査内容を元に統合した分析データ

鉄道利用者数の計算フロー



目次

1. 背景と目的
2. 既存の調査/統計の整理
3. 東京圏における訪日外国人の観光実態
 - ① 宿泊状況（宿泊旅行統計調査）
 - ② 訪問者数（国際航空旅客動態調査）
 - ③ 主要な訪問地と訪問箇所数（訪日外国人消費動向調査）
4. 訪日外国人の訪問者数と鉄道利用者の概数の推計
5. 今後の課題

宿泊旅行統計調査概要

• 調査方法

- 観光庁で毎月実施
- 施設名簿から抽出された宿泊施設が対象
- 都道府県区分×施設従業員数区分の層に分けて集約
- 収集結果は各層で回収施設数と母数施設数の回収率で拡大

• 主な回答内容

- 延べ宿泊者数（外国人・日本人別）
- 延べ宿泊者数の国籍別人数（従業員数10人以上の施設のみ）
- 実宿泊者数（外国人(国籍不明)・日本人別）

鉄道利用者数の計算フロー

全国インバウンド数

出入国管理統計 27.4百万人/年

東京圏(東京、埼玉、千葉、神奈川)

訪問率

~~平均
滞在日数~~

日平均トリップ数
(=訪問地点数・ホテル戻り)

鉄道
分担率

訪問者数

延べ
宿泊者数

訪問地点間
トリップ数

総トリップ数

幹線駅

**鉄道利用
トリップ数**

1つの宿泊施設への宿泊日数が分かる
東京圏での滞在日数は不明

宿泊旅行統計調査結果から下記項目を整理する。

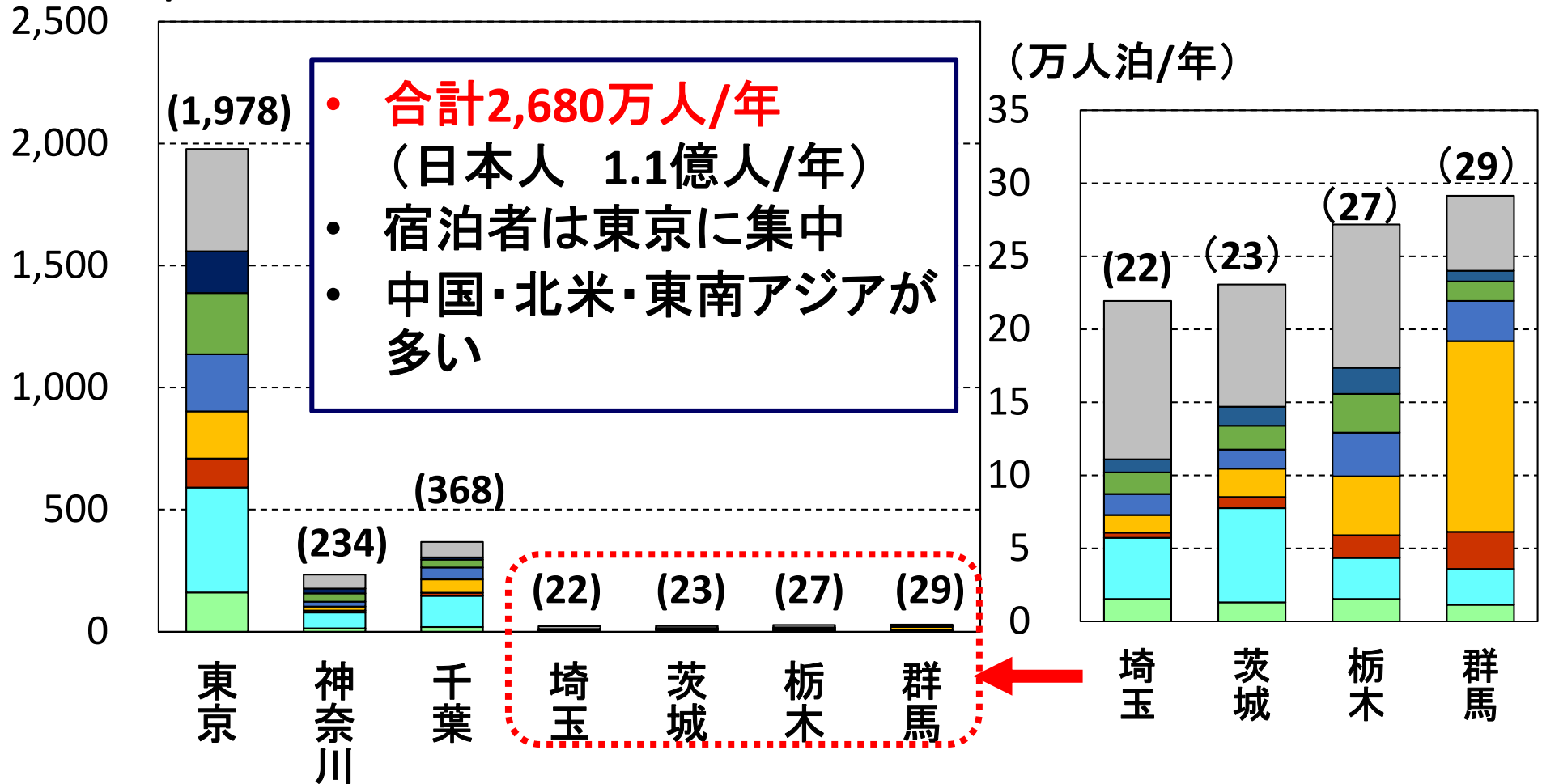
関東内エリアごとの宿泊者数・平均宿泊日数・外国人割合

- 関東の都県単位
- 都心ターミナル駅
- 関東圏観光エリア等

延べ宿泊者数の地域分布(1都6県)

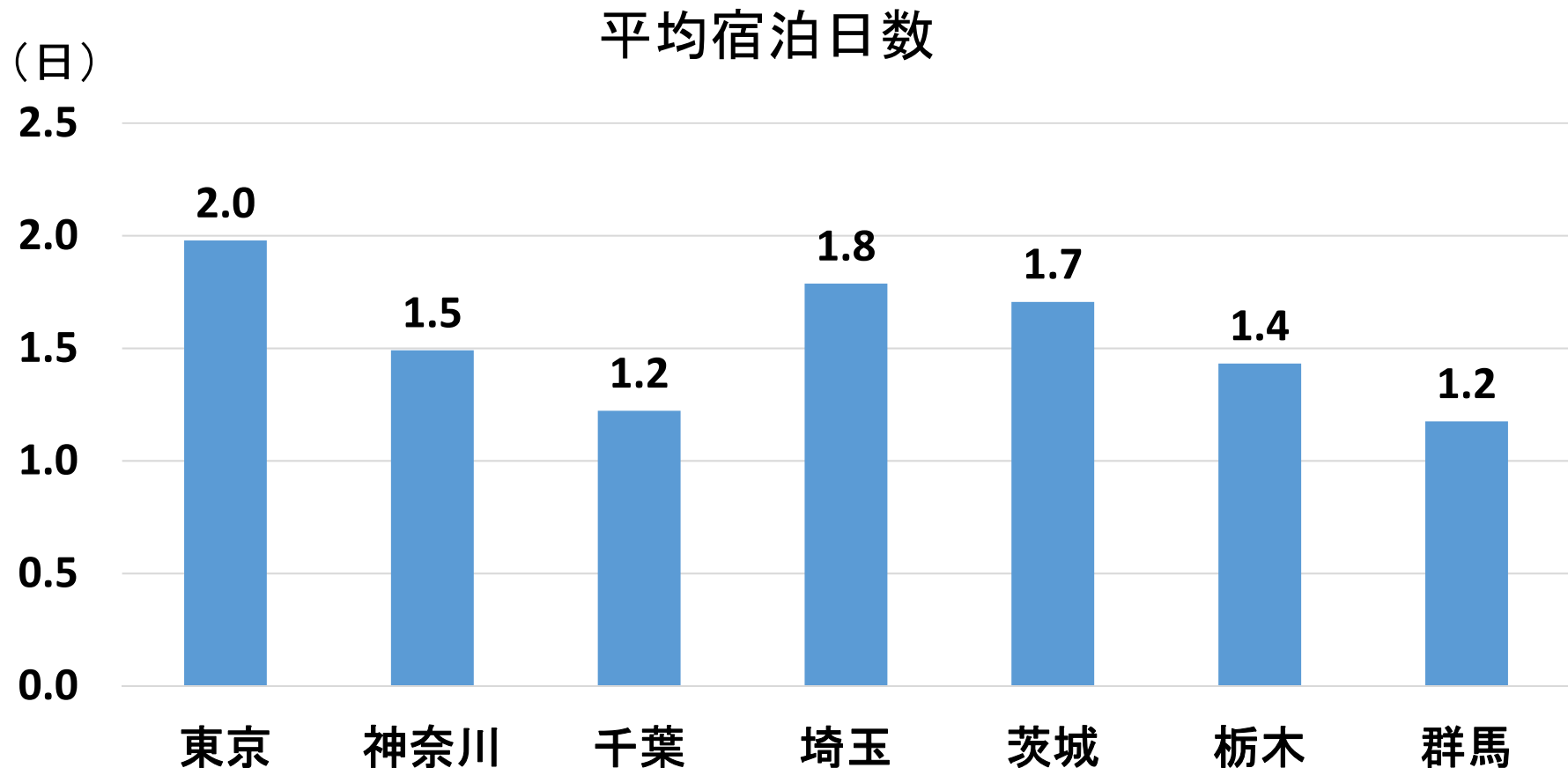
1都6県外国人延べ宿泊者数

■ 韓国 ■ 中国 ■ 香港 ■ 台湾 ■ 東南アジア ■ 北米 ■ 欧州 ■ その他エリア
 (万人泊/年) ※その他は国籍不明含む



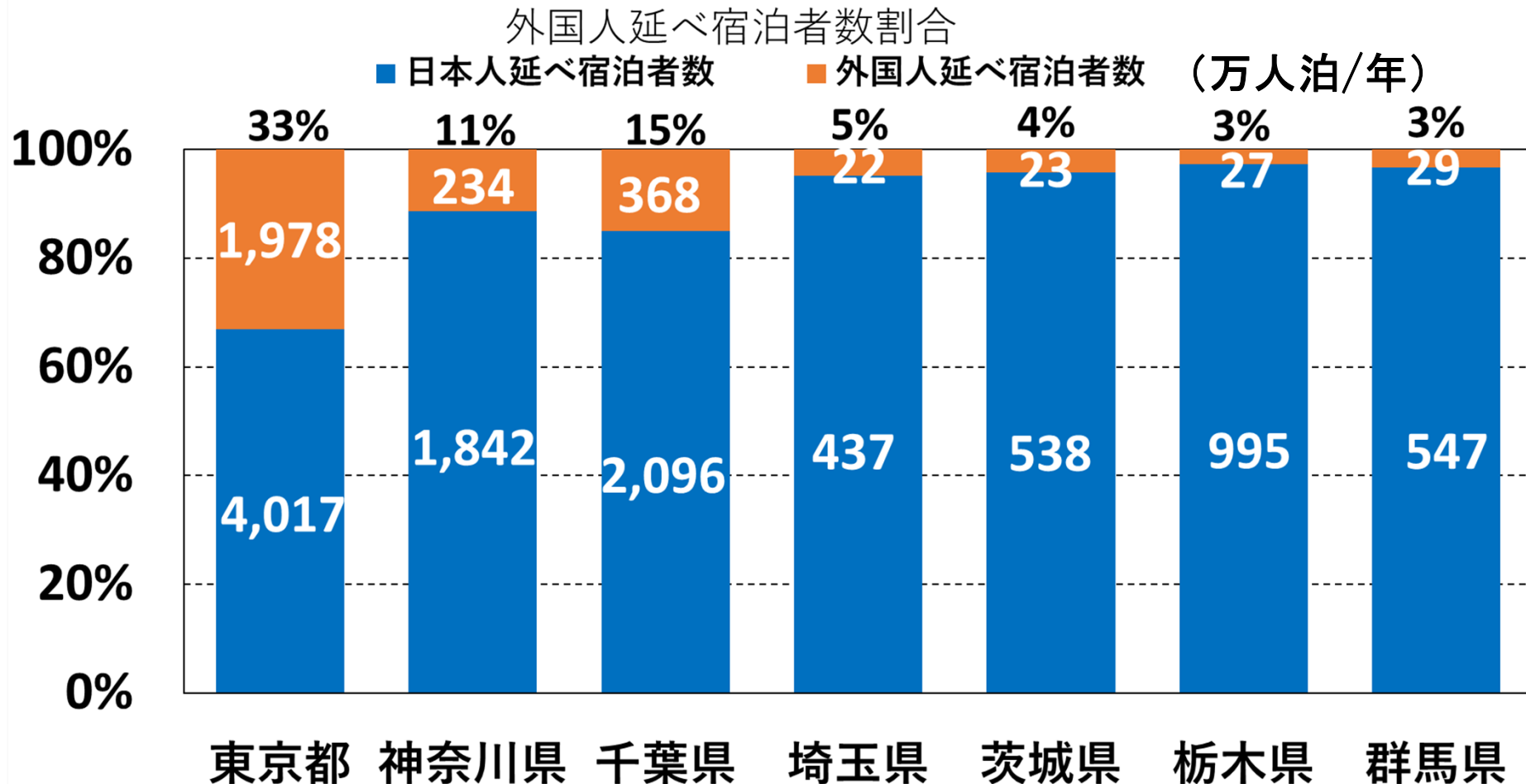
平均宿泊日数の地域分布(1都6県)

- 1施設当たりの外国人平均宿泊日数は全体で**約1.8日**
- 地域別では、都心が長く、郊外は短い。
- 施設ごとの宿泊日数であるため日本滞在日数とは異なる。

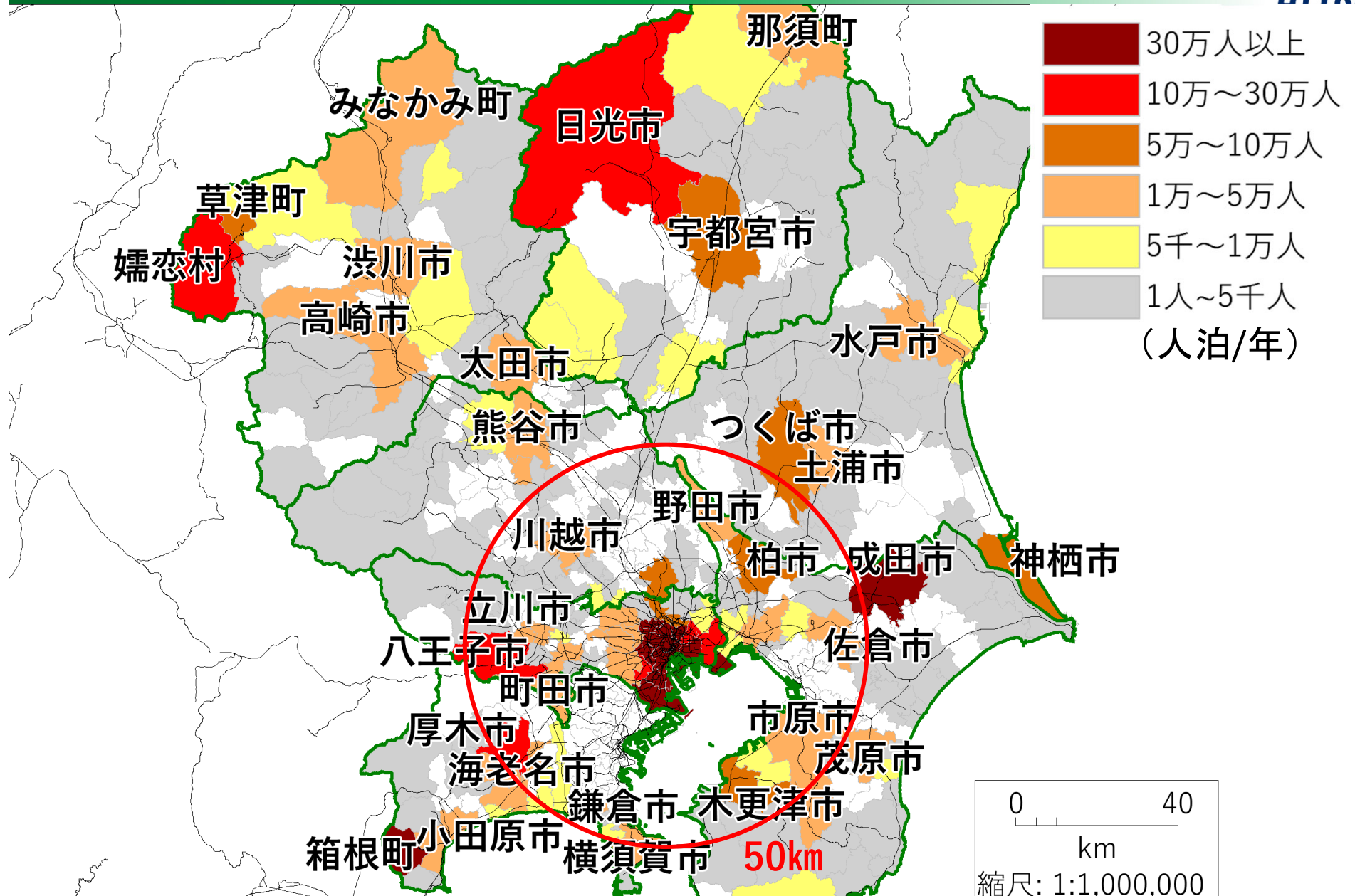


延べ宿泊者数の外国人割合(1都6県)

- 1都6県宿泊者数の**約20%**が外国人宿泊者。
- 東京が33%のほか、神奈川と千葉で10%を超えている。

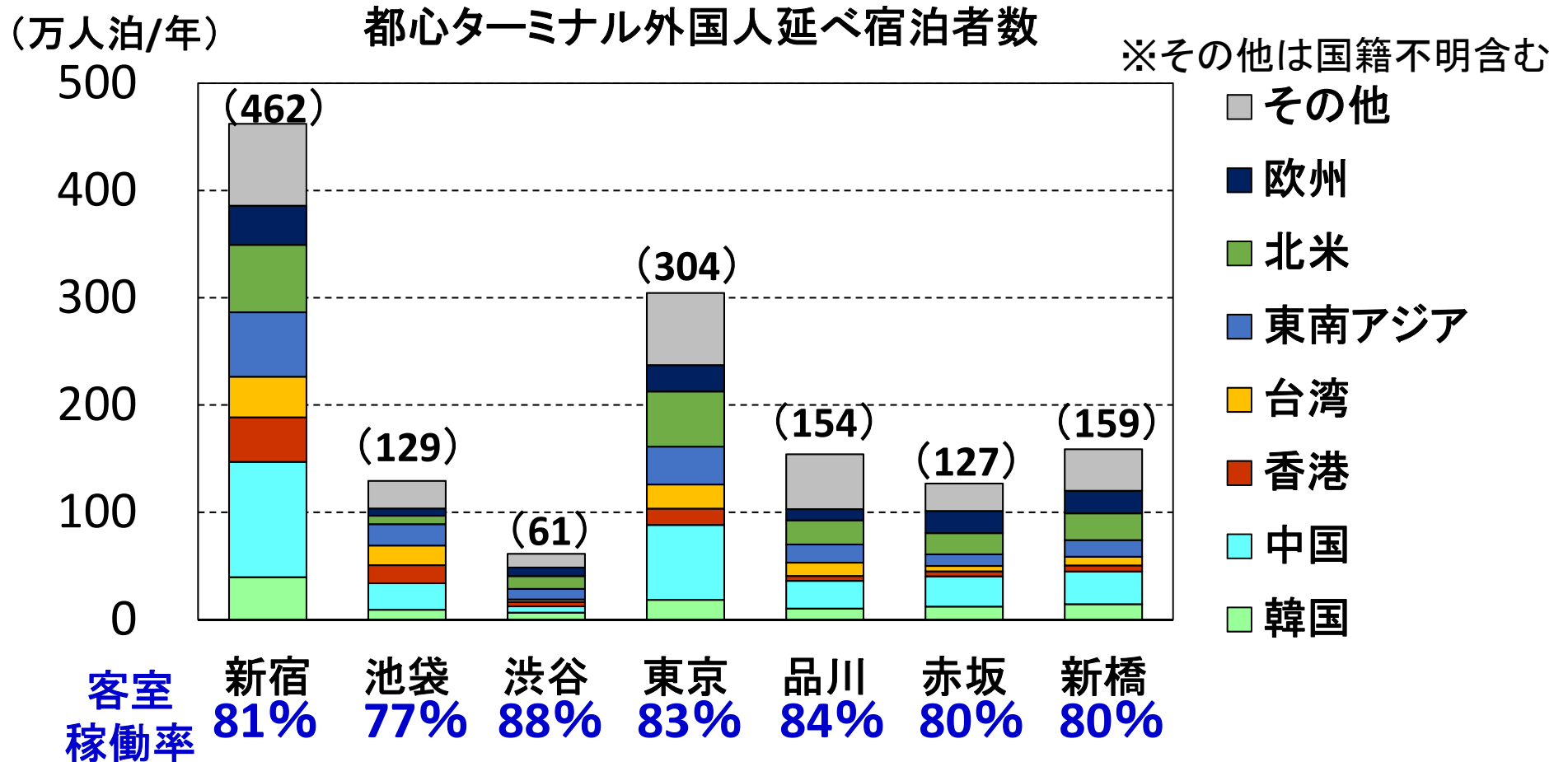


延べ宿泊者数の地域分布(1都6県)



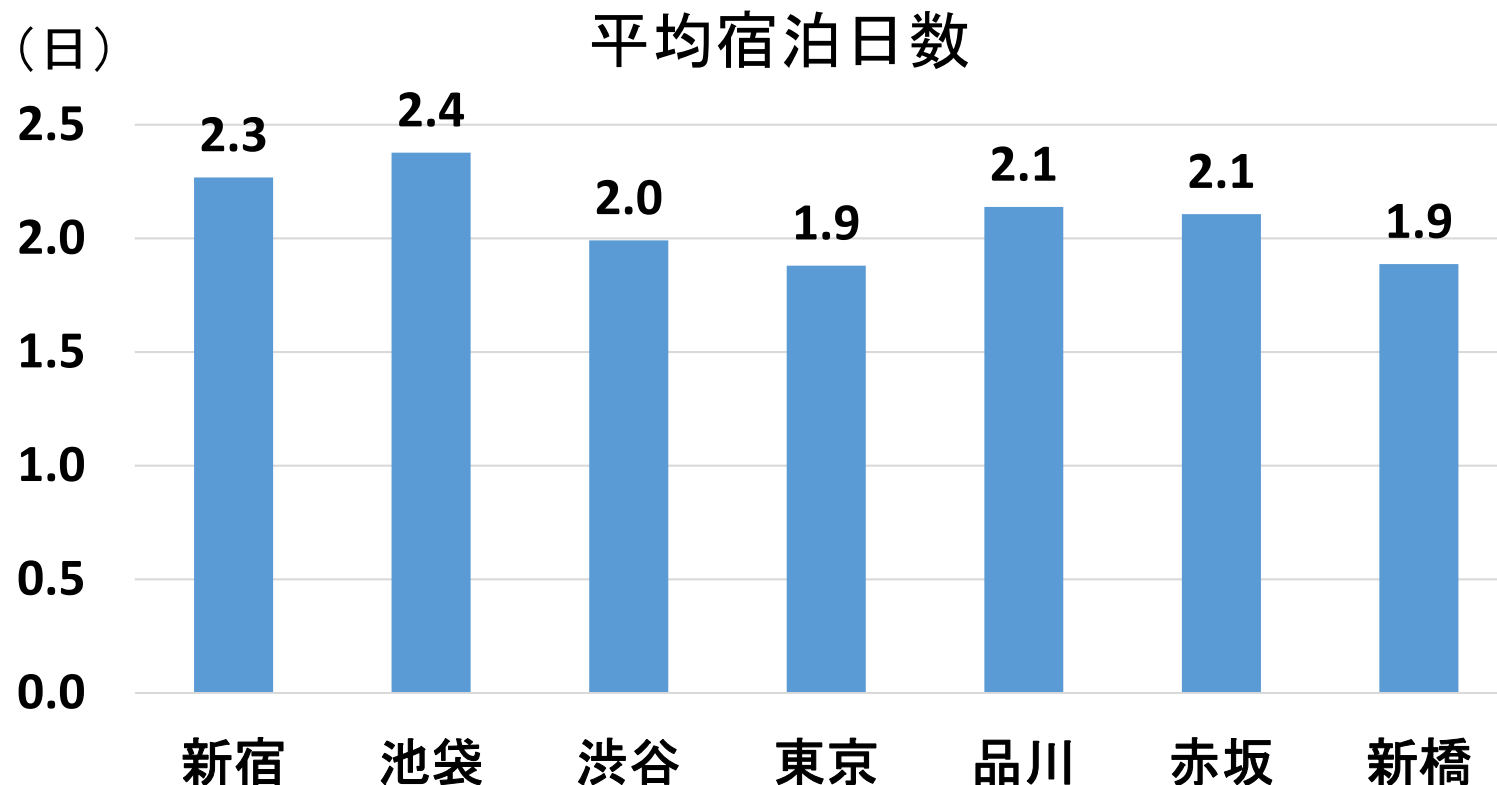
延べ宿泊者数の地域分布(都心ターミナル駅周辺地域)

- 延べ宿泊者数は**新宿駅周辺**が最も多い(462万人泊/年)。
- 中国が多い傾向だが、**渋谷・品川**では**欧米の割合**が高い。
- 客室稼働率は**8割前後**と非常に高い。※客室稼働率は日本人利用も含む



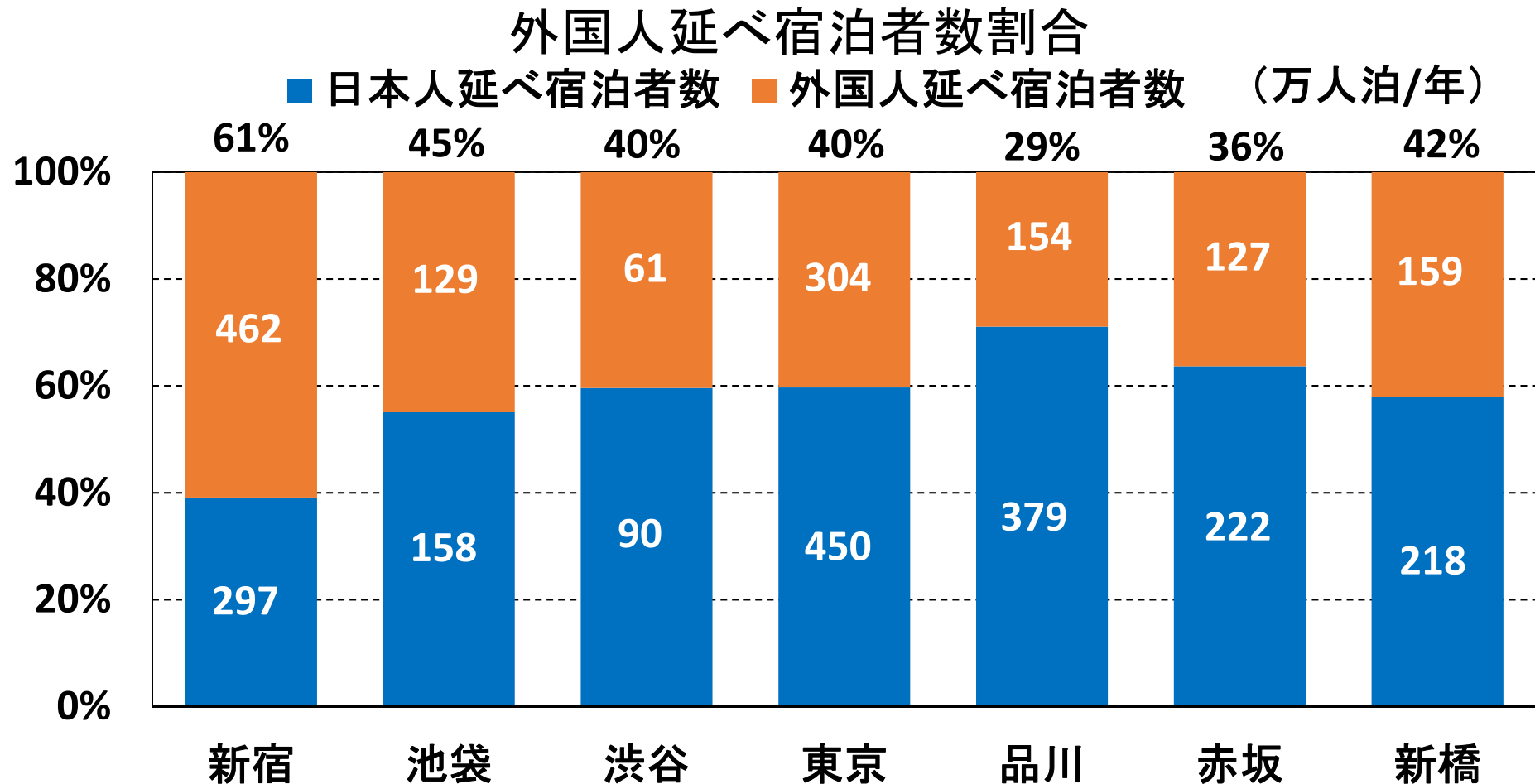
外国人の平均宿泊日数(都心ターミナル駅周辺地域)

- 外国人の1施設当たり平均宿泊日数は約1.9～2.4泊である。
- 池袋が最も多く、東京・新橋が少ない。
- 国籍別割合と宿泊日数の関係性は見られなかった。

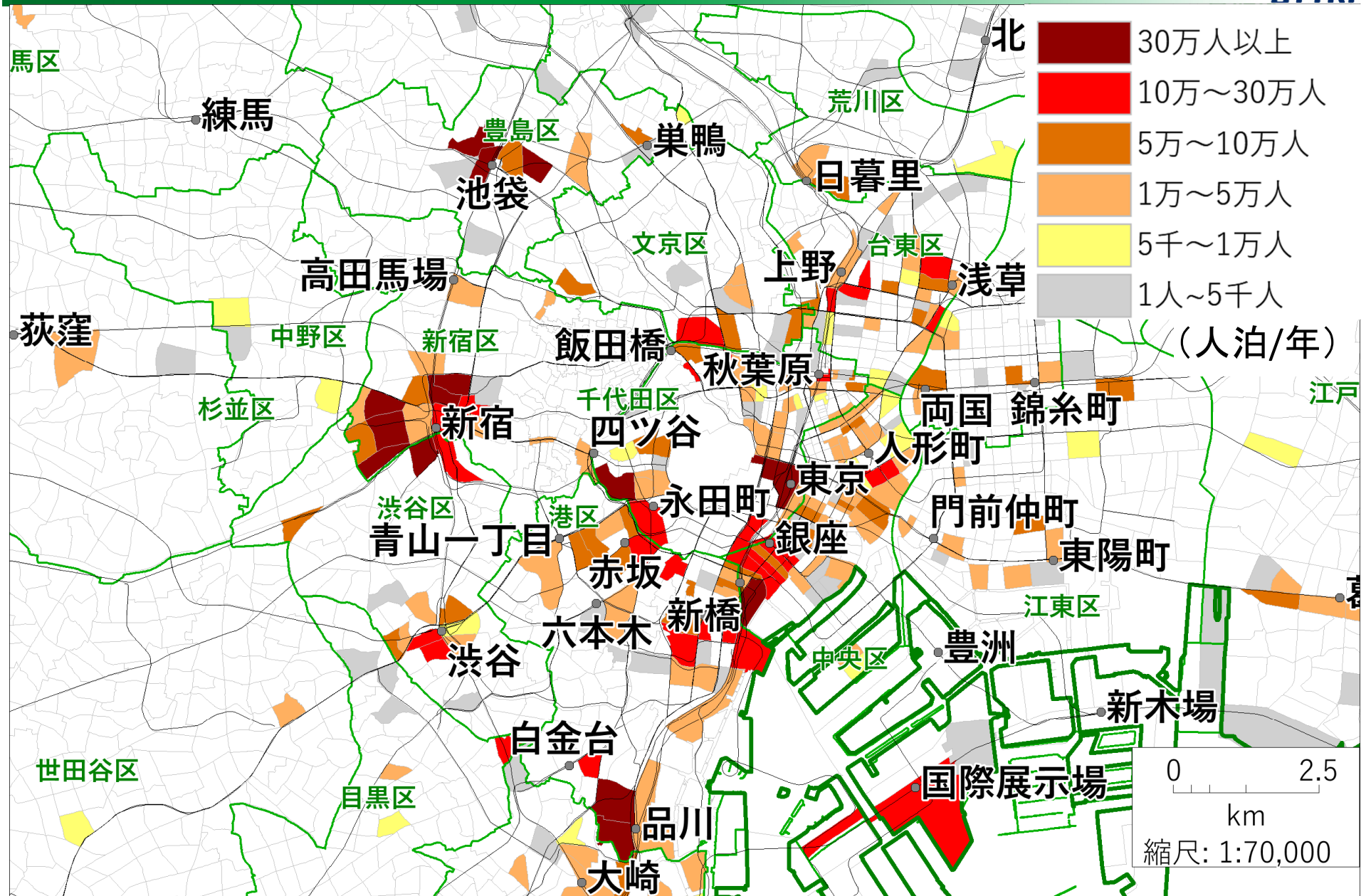


延べ宿泊者数の外国人割合(都心ターミナル駅周辺地域)

- 外国人割合は**新宿が最も多い(61%)**。
- 品川では外国人延べ宿泊者数が150万を超えるが、外国人割合は都心ターミナルの中では低い。

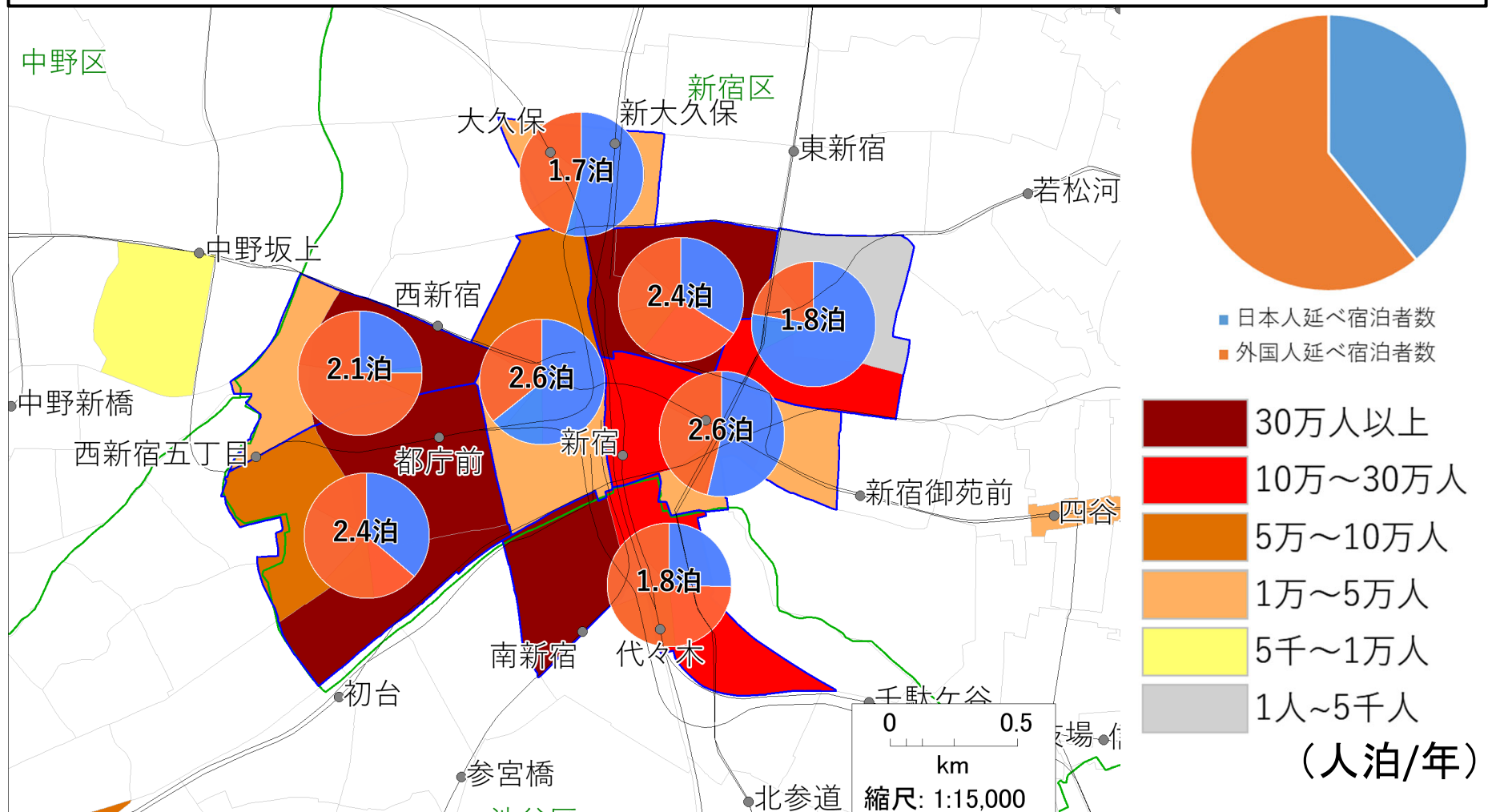


延べ宿泊者数の地域分布(全国籍、町丁目単位)

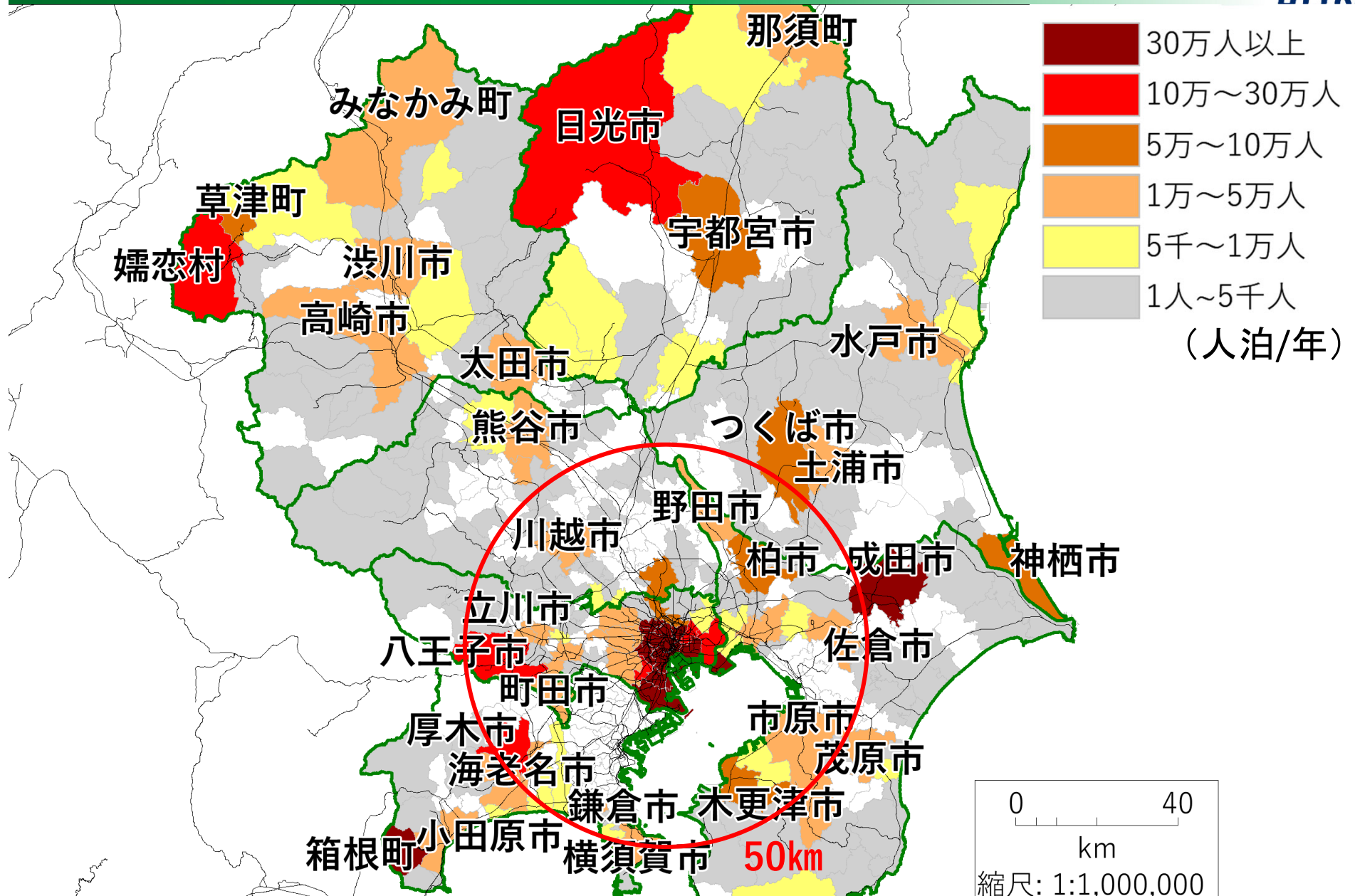


延べ宿泊者数の地域分布(全国籍、新宿駅周辺)

- 新宿全体で外国人割合が多い
- 1施設当たりの平均宿泊日数(延べ宿泊者数/実宿泊者数)は全体で2.3泊
- 駅周辺流動は西口・東口(歌舞伎町方面)が多い

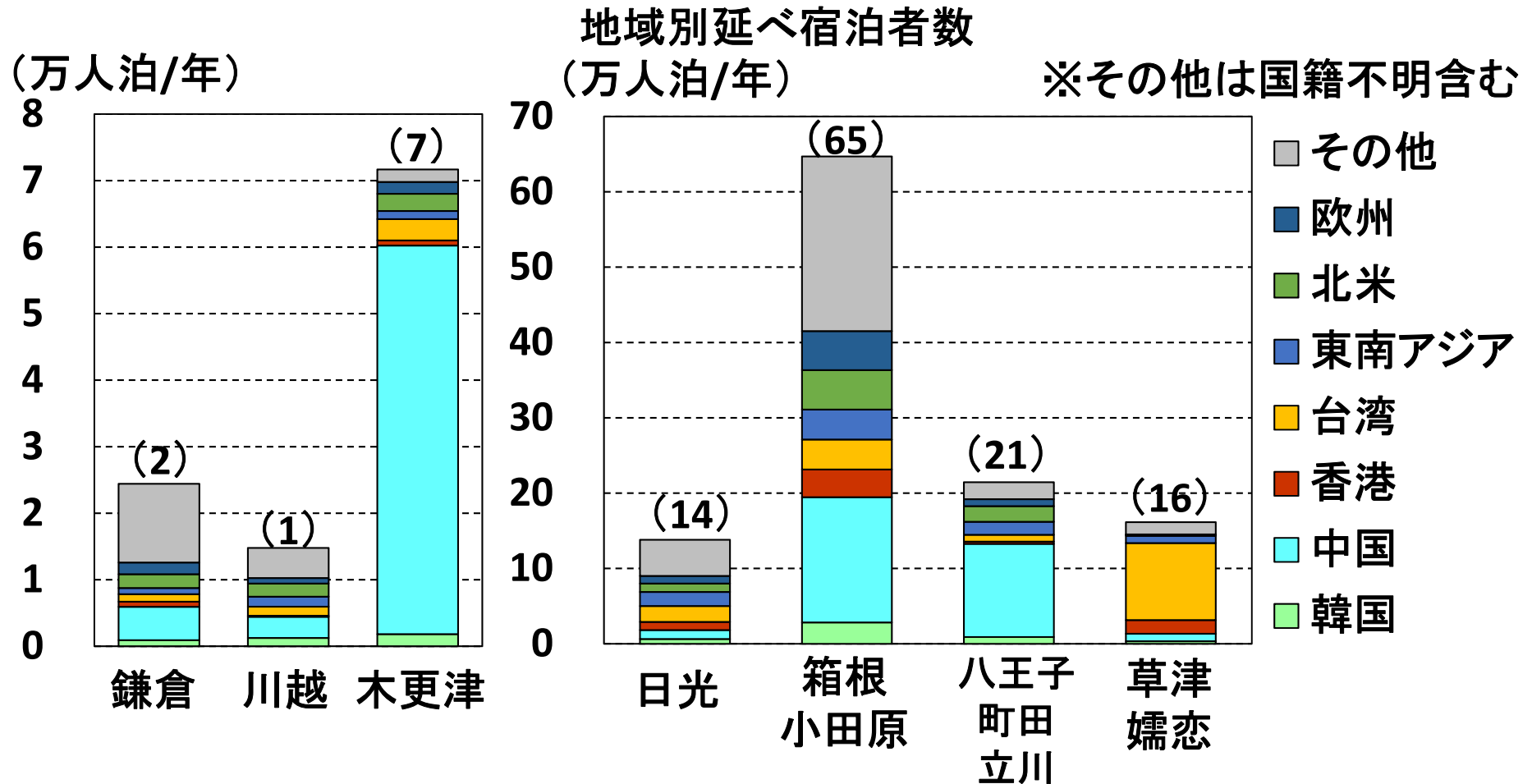


延べ宿泊者数の地域分布(1都6県)



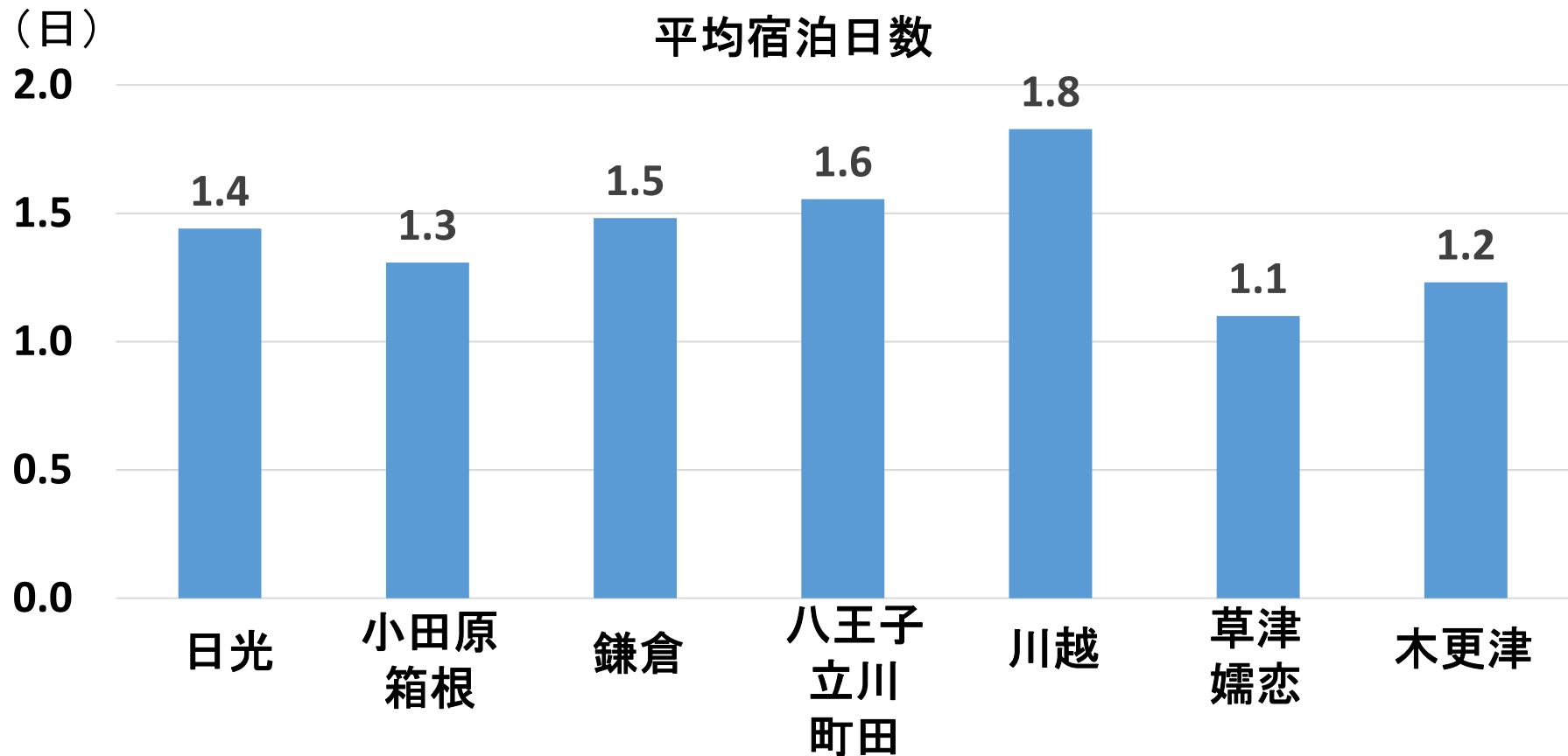
延べ宿泊者数の地域分布(地域別)

- 宿泊者数は**箱根・小田原が多く**、西東京でも一定の数字が出た。
- 国籍別に見ると**中国の割合が高く**、特に木更津で顕著である。
- 孺恋は台湾が高く、日光では国籍に大きな偏りが無い。



平均宿泊日数の地域分布(地域別)

- 宿泊日数は1.5泊程度、多方面にアクセスしやすい都心に近い場所では複数泊する傾向がみられる。

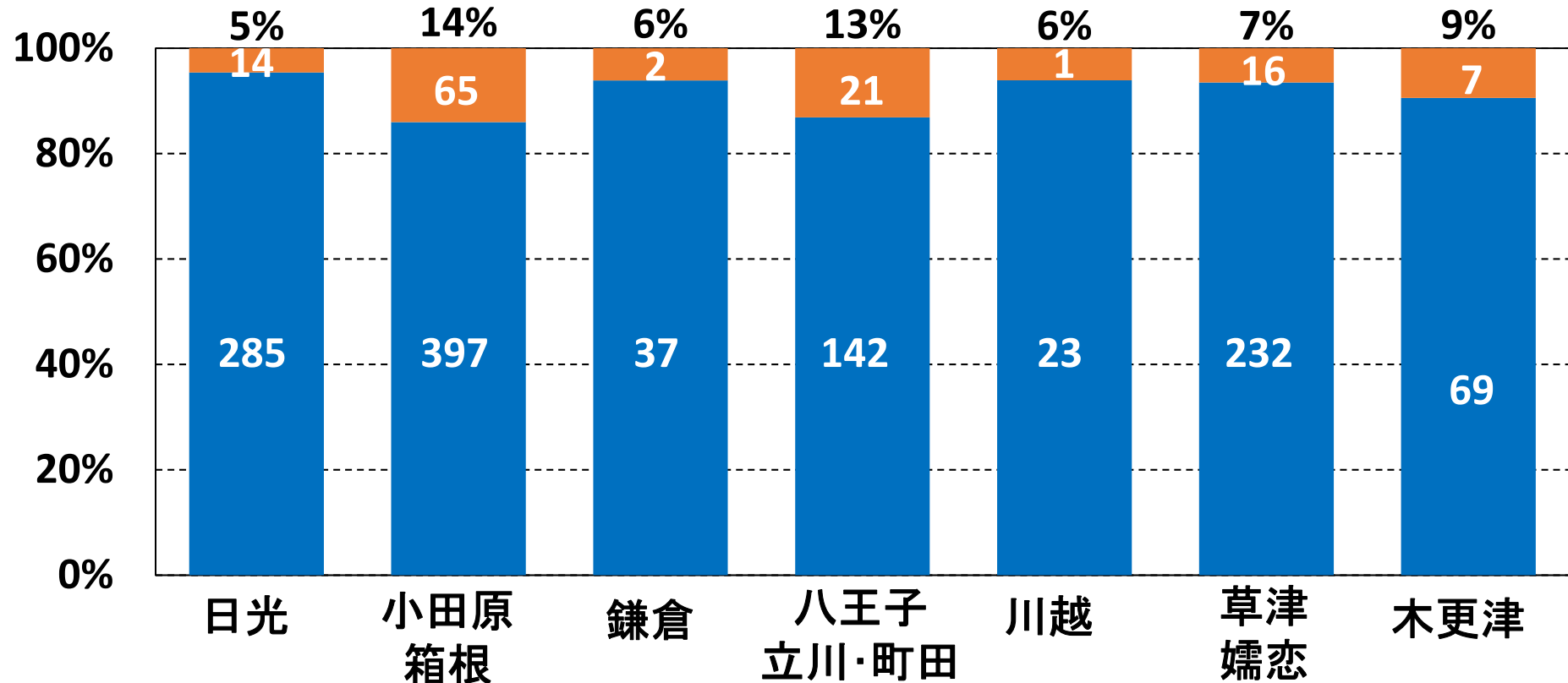


延べ宿泊者数の外国人割合(地域別比較グラフ)

- 殆どが日本人宿泊者。
- 小田原・箱根、八王子・立川・町田は10%を超えている。

図 外国人延べ宿泊者数割合

■ 日本人延べ宿泊者数 ■ 外国人延べ宿泊者数 (万人泊/年)



• 宿泊者数について

- 1都6県で約2,680万人泊/年、約70%が東京都である。
- 特に多い地域は新宿駅周辺。
- 都心部では外国人割合が高い。
- 郊外では国籍割合などの極端な特徴が出る地域がある。

• 平均宿泊日数について

- 都心では約2泊、郊外では1～2泊と都心の方が長い傾向。
- 平均宿泊日数は1施設当たりの日数となる。ある個人の複数施設利用時の合計宿泊数は把握できない。

目次

1. 背景と目的
2. 既存の調査/統計の整理
3. 東京圏における訪日外国人の観光実態
 - ① 宿泊状況（宿泊旅行統計調査）
 - ② 訪問者数（国際航空旅客動態調査）
 - ③ 主要な訪問地と訪問箇所数（訪日外国人消費動向調査）
4. 訪日外国人の訪問者数と鉄道利用者の概数の推計
5. 今後の課題

国際航空旅客動態調査の概要(調査項目について)

• 調査方法

- 航空局で毎年実施
- 出国者が対象
- 出国手続き後エリアで聞き取り調査
- 航空局公表資料では、〈空港〉・〈国籍〉・〈行先〉の各区分で拡大集計

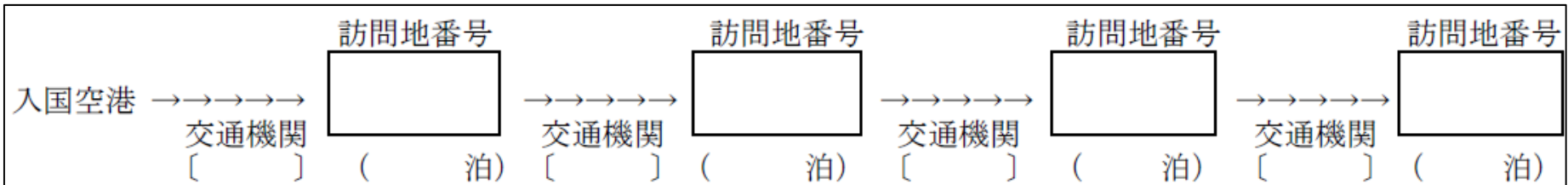
全サンプル数
約2万

• 主な回答内容

- 日本での入国空港・出国空港・滞在目的
- 日本での訪問地・交通機関・滞在日数
- 出国後について(航空便名・行先国・都市・目的等)

国際航空旅客動態調査の概要(「問13」について)

- 確認する訪問地は、ほぼ都道府県単位となっている。
- 都市間の移動については把握が難しい。



1都3県で把握できるゾーンは7地点

● 訪問地番号 (アルファベット順)

1. 秋田	12. 函館	23. 高知	34. 富士山周辺	45. 岡山	56. 高山
2. 青森	13. 箱根	24. 小松	35. 高野山	46. 大阪	57. 徳島
3. 旭川	14. 広島	25. 熊本	36. 長崎	47. 小樽	58. 東京
4. 阿蘇	15. 伊勢志摩	26. 草津	37. 名古屋	48. 大津	59. 洞爺
5. 別府	16. 石垣島	27. 釧路	38. 那覇	49. 佐賀	60. 富山
6. 千葉	17. 鹿児島	28. 京都	39. 奈良	50. さいたま	61. 山形
7. 千歳	18. 鎌倉	29. 松江	40. 成田	51. 札幌	62. 横浜
8. 福井	19. 金沢	30. 松山	41. 新潟	52. 仙台	63. 米子
9. 福岡	20. 軽井沢	31. 水戸	42. 日光	53. 静岡	64. 湯布院
10. 福島	21. 北九州	32. 宮崎	43. 登別	54. 下関	
11. 富良野	22. 神戸	33. 盛岡	44. 大分	55. 高松	

国際航空旅客動態調査の概要(「問13」について)

- 利用した交通機関の確認がある。
- 細かい都市単位の移動が反映されないため分析に制約がある。
- 交通機関の在来線についても、都県間移動が主であり、地下鉄など都市鉄道は考えにくい。

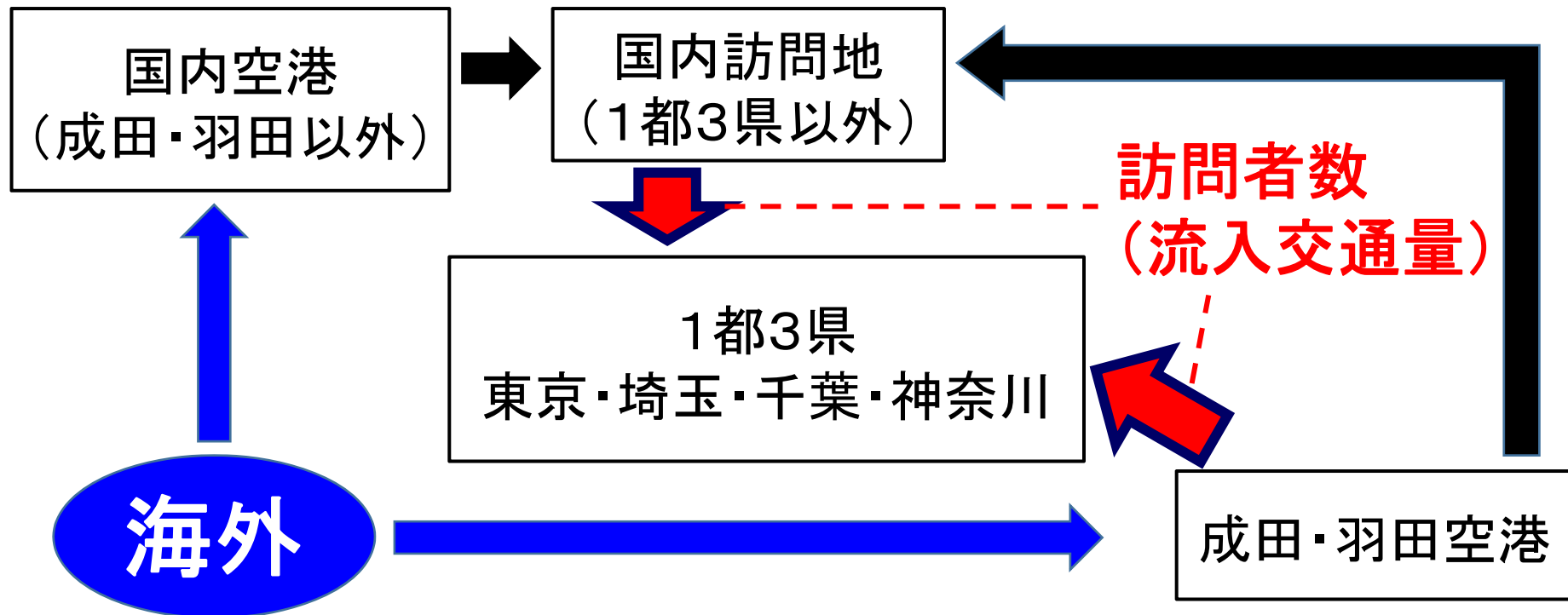
**鉄道利用は2分類
(新幹線除く)**

1. 貸切バス
2. その他のバス
3. 新幹線
4. 優等列車
5. 在来線
6. タクシー・ハイヤー
7. レンタカー
8. その他の乗用車
9. 国内線飛行機
10. その他

1都3県の訪問者数(平成29年)

● 1都3県訪問者数(流入交通量)の集計方法

- 1都3県を訪問するサンプルを集計する。
- 海外から成田・羽田空港経由で訪問するケースと1都3県以外の国内地域から訪問ケースを想定する。



1都3県への流入交通量(平成29年)

- 1都3県への流入流動量は、全目的:約1,300万トリップ[°](人)/年、観光目的:約940万トリップ[°](人)/年。
- 国内他地域からの流入は新幹線利用が多い。

図 全目的

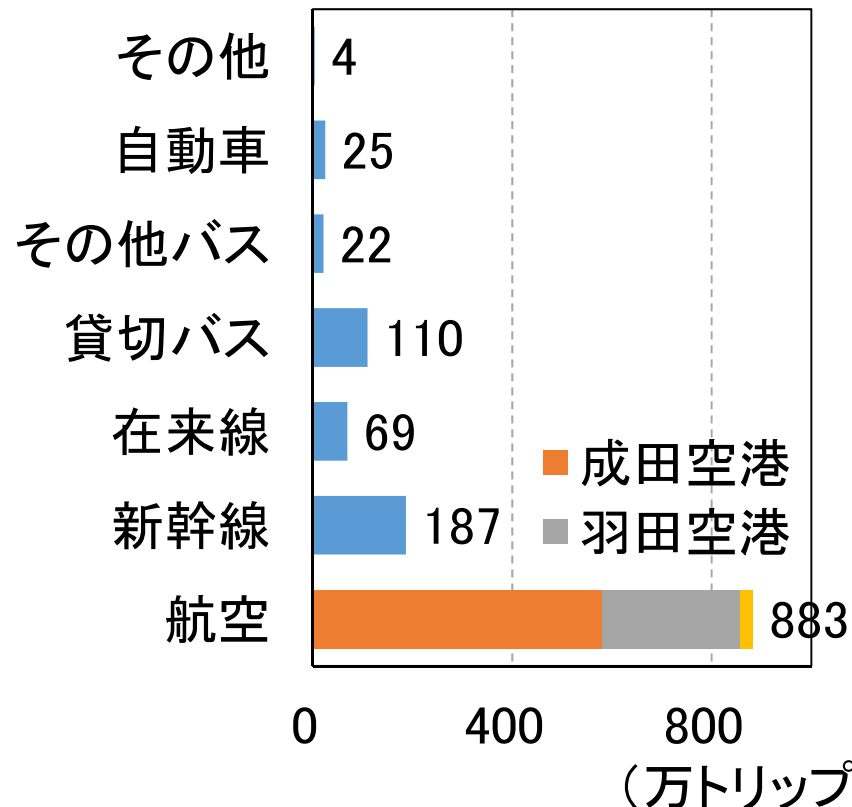
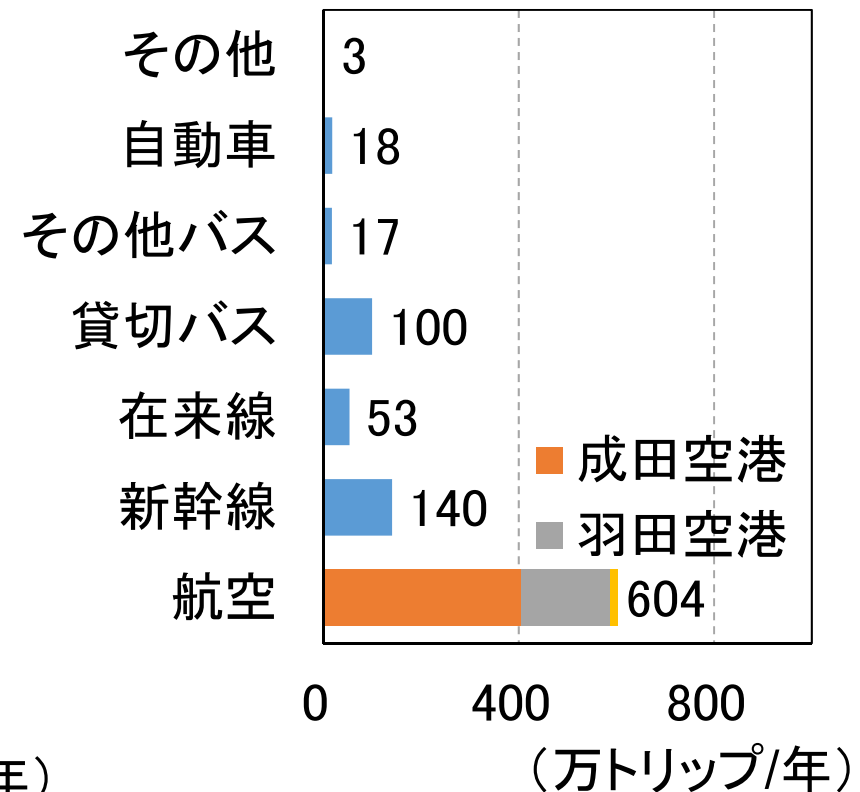


図 観光目的



1都3県の平均滞在日数(平成29年)

- 1都3県への宿泊日数を集計する。
- 宿泊日数の回答から、1都3県の平均宿泊日数は全目的で**5.4泊**、観光目的で**4.6泊**となった。

図 記入例

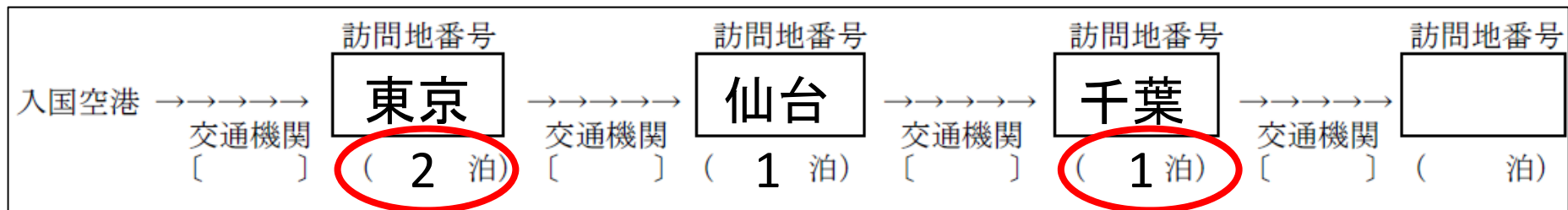


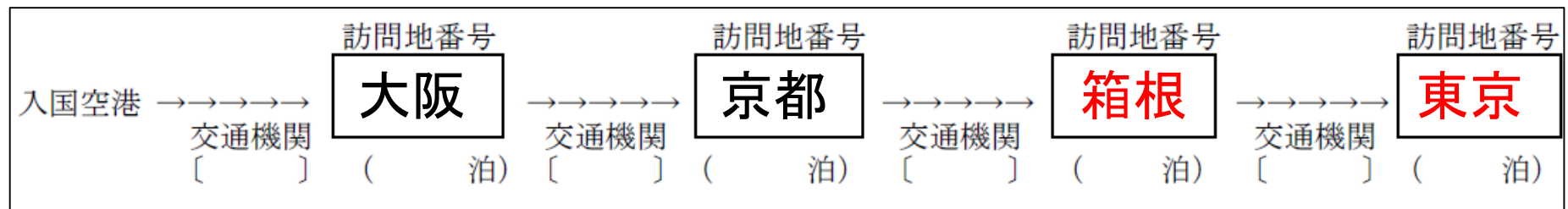
表 平成29年平均滞在日数

目的別	航空動態による 1都3県訪問者数 (人/年)	航空動態による 合計滞在日数 (泊/年)	平均滞在日数 (泊)
全目的	1,086万	5,877万	5.4
観光	756万	3,476万	4.6

1都3県の訪問率(平成29年)

- 1都3県に1度でも訪れたサンプルを対象に集計する。
- 訪問率は、全目的・観光目的共に同じ**41%**となった。

図 記入例



訪問率 (平成29年)

目的	航空動態による 訪日者数 (人/年)	航空動態による 1都3県訪問者数 (人/年)	1都3県訪問率
全目的	2,629万	1,086万	41%
観光	1,859万	771万	41%

• 訪問者数について

- 全目的では約1,300万トリップ、観光目的では約900万トリップの流入があった。
- 海外から成田空港経由の流入が最も多く、次に羽田空港、他地域からの新幹線流動の順となった。

• 滞在日数について

- 全目的では5.4泊、観光目的では4.6泊となった。
- 観光より、業務目的などの方が長期滞在傾向にある。

• 訪問率について

- 全目的・観光目的ともに41%となった。

目次

1. 背景と目的
2. 既存の調査/統計の整理
3. 東京圏における訪日外国人の観光実態
 - ① 宿泊状況（宿泊旅行統計調査）
 - ② 訪問者数（国際航空旅客動態調査）
 - ③ 主要な訪問地と訪問箇所数（訪日外国人消費動向調査）
4. 訪日外国人の訪問者数と鉄道利用者の概数の推計
5. 今後の課題

訪日外国人消費動向調査の概要(調査項目について)

• 調査方法

- 観光庁で四半期ごとに実施
- 日本を出国する訪日外国人が対象(1年以上の滞在者、永住者、永住者の配偶者、日本人の配偶者など対象外あり)
- 観光庁公表資料では国籍区分で拡大集計

全サンプル数
約4万

• 主な回答内容

- 入国空海港・出国空海港・滞在目的
- 訪問地・滞在日数
- 支出費目(宿泊費・交通費・飲食費・買物代等)

訪日外国人消費動向調査票

	●D1. 訪問地名 (都道府県名や 観光地名等を記入)	●D2. 宿泊施設 (番号を記入)	●D3. 泊数 (宿泊しなかった 訪問地には「0」を記入)
入国港	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 泊
訪問地①	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 泊
訪問地②	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 泊
訪問地③	航空旅客動態調査よりも 詳細な地点を把握可能		
訪問地④			
訪問地⑤	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 泊
訪問地⑥	移動に用いた交通機関 は把握できない		
訪問地⑦			
訪問地⑧	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 泊
訪問地⑨	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 泊
出国港	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 泊

回答された訪問地名

東京・新宿・銀座・浅草・渋谷・
秋葉原・上野・原宿・六本木・
東京ドーム・丸の内・皇居・東
京タワーなど
東京都全75地点

横浜・箱根・鎌倉など
神奈川県全26地点

浦和・大宮・川越など
埼玉県全14地点

千葉市・東京ディズニーリゾートなど
千葉県全15地点

回答のパターンについて

- <記入例1> 周遊行動が把握できる。極めてサンプル数が少ない。
- <記入例2> 「浅草」を起点に動いているが、1日で周遊したか、1日ずつで周遊したか判明しない。
- <記入例3> 「新宿」「銀座」「お台場」を起点に動いているが、1日の周遊が把握できない。

<記入例1:ごく少数>

	●D1. 訪問地名 (都道府県名や 観光地名等を記入)	●D2. 宿泊施設 (番号を記入)	●D3. 泊数 (宿泊しなかった 訪問地には「0」を記入)
入国港	成田空港		
訪問地①	明治神宮		
訪問地②	新宿		1
訪問地③	三鷹		
訪問地④	池袋		1
訪問地⑤	銀座		
訪問地⑥	東京ドーム		1
訪問地⑦			
訪問地⑧			
訪問地⑨			
出国港	成田空港		

<記入例2:約39%>

	●D1. 訪問地名 (都道府県名や 観光地名等を記入)	●D2. 宿泊施設 (番号を記入)	●D3. 泊数 (宿泊しなかった 訪問地には「0」を記入)
入国港	成田空港		
訪問地①	浅草		3
訪問地②	新宿		
訪問地③	渋谷		
訪問地④	秋葉原		
訪問地⑤			
訪問地⑥			
訪問地⑦			
訪問地⑧			
訪問地⑨			
出国港	成田空港		

<記入例3:61%>

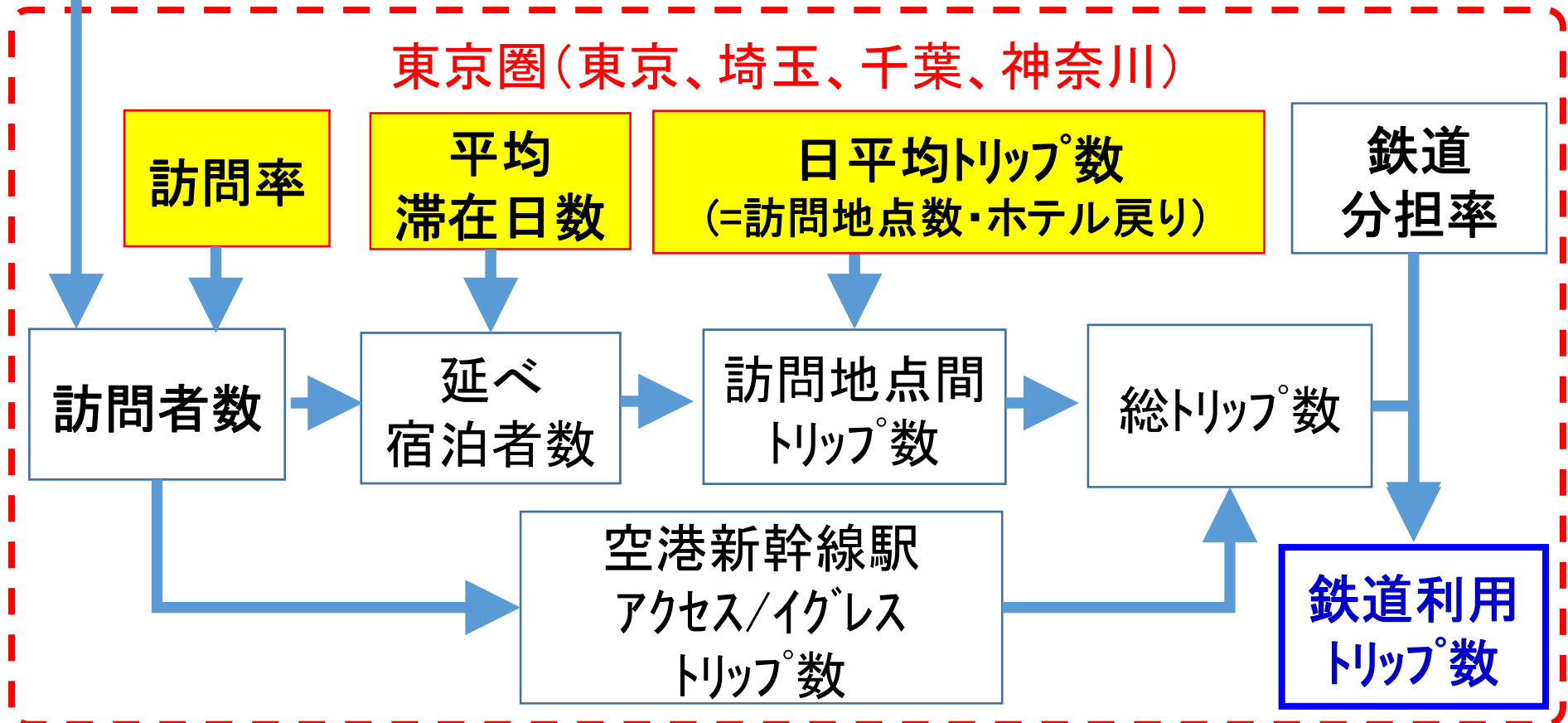
	●D1. 訪問地名 (都道府県名や 観光地名等を記入)	●D2. 宿泊施設 (番号を記入)	●D3. 泊数 (宿泊しなかった 訪問地には「0」を記入)
入国港	成田空港		
訪問地①	新宿		8
訪問地②			
訪問地③			
訪問地④			
訪問地⑤			
訪問地⑥			
訪問地⑦			
訪問地⑧			
訪問地⑨			
出国港	成田空港		

調査から判明する項目

全国インバウンド数

出入国管理統計 27.4百万人/年

東京圏(東京、埼玉、千葉、神奈川)



※回答サンプルは、国籍別・入国空海港別の区分に分けて、出入国管理統計の年間総数との割合により拡大する。

1都3県の滞在日数(平成29年)

- 1都3県の訪問者数と合計宿泊数から、滞在日数を算出する。
- 平均宿泊日数は全目的で**8.3泊**、観光・レジャー目的で**4.6泊**となった。

図 記入例

	●D1. 訪問地名 (都道府県名や 観光地名等を記入)	●D2. 宿泊施設 (番号を記入)	●D3. 泊数 (宿泊しなかった 訪問地には「0」を記入)
入国港	成田空港		泊
訪問地①	浅草		1 泊
訪問地②	渋谷		2 泊

表 滞在日数(平成29年)

目的	消費動向による 1都3県訪問者数 (人/年)	消費動向による 合計宿泊数 (泊/年)	平均滞在日数 (泊)
全目的	1,252万	10,396万	8.3
観光・レジャー	795万	3,651万	4.6

1都3県の訪問率(平成29年)

- 1都3県に1度でも訪れたサンプルを対象に集計する。
- 訪問率は、全目的が**48%**、観光・レジャー目的が**41%**となった。

図 記入例

	●D1. 訪問地名 (都道府県名や 観光地名等を記入)	●D2. 宿泊施設 (番号を記入)	●D3. 泊数 (宿泊しなかった 訪問地には「0」を記入)
入国港	成田空港	<input type="text"/>	<input type="text"/> 泊
訪問地①	新宿	<input type="text"/>	1 泊
訪問地②	富士山	<input type="text"/>	<input type="text"/> 泊

表 1都3県訪問率(平成29年)

目的	消費動向による 訪日者数 (人)	1都3県訪問者数 (人)	1都3県訪問率
全目的	2,608万	1,252万	48%
観光目的	1,907万	795万	42%

1都3県内の1日あたり訪問地数(平成29年)

- 滞在中の訪問箇所数と滞在日数から平均訪問地数を算出する。
- 個票データの制約から、宿泊日数より訪問箇所数が下回るサンプルは対象外とする。(※ 宿泊日数も再度集計)
- 1日あたり、全目的では**1.2箇所**、観光・レジャー目的では**1.3箇所**訪問する。

図 対象記入例

	●D1. 訪問地名 (都道府県名や 観光地名等を記入)	●D2. 宿泊施設 (番号を記入)	●D3. 泊数 (宿泊しなかった 訪問地には「0」を記入)
入国港	成田空港		泊
訪問地①	浅草		2 泊
訪問地②	新宿		泊

図 対象外記入例

	●D1. 訪問地名 (都道府県名や 観光地名等を記入)	●D2. 宿泊施設 (番号を記入)	●D3. 泊数 (宿泊しなかった 訪問地には「0」を記入)
入国港	成田空港		泊
訪問地①	浅草		20 泊
訪問地②	成田空港		泊

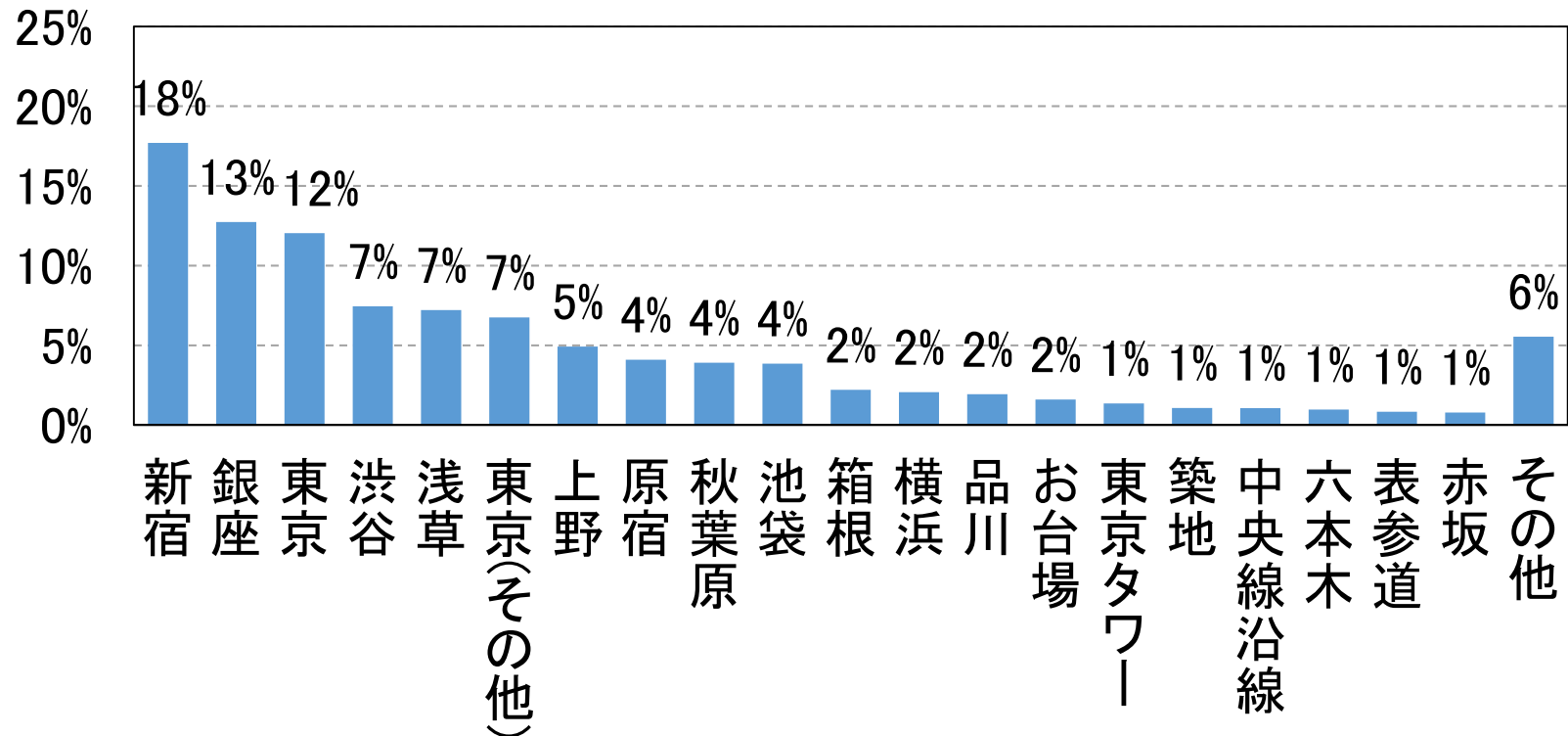
表 平均訪問箇所数(平成29年)

目的	滞在中平均 訪問箇所数	滞在日数 (泊) (※)	平均訪問箇所数/日
全目的	2.4	1.9	1.2
観光・レジャー	2.7	2.1	1.3

主要な訪問地分布(1都3県、全目的)

- 新宿・銀座・東京・渋谷の順に多い。
- 観光目的と比較して、渋谷・秋葉原・赤坂などが多い。

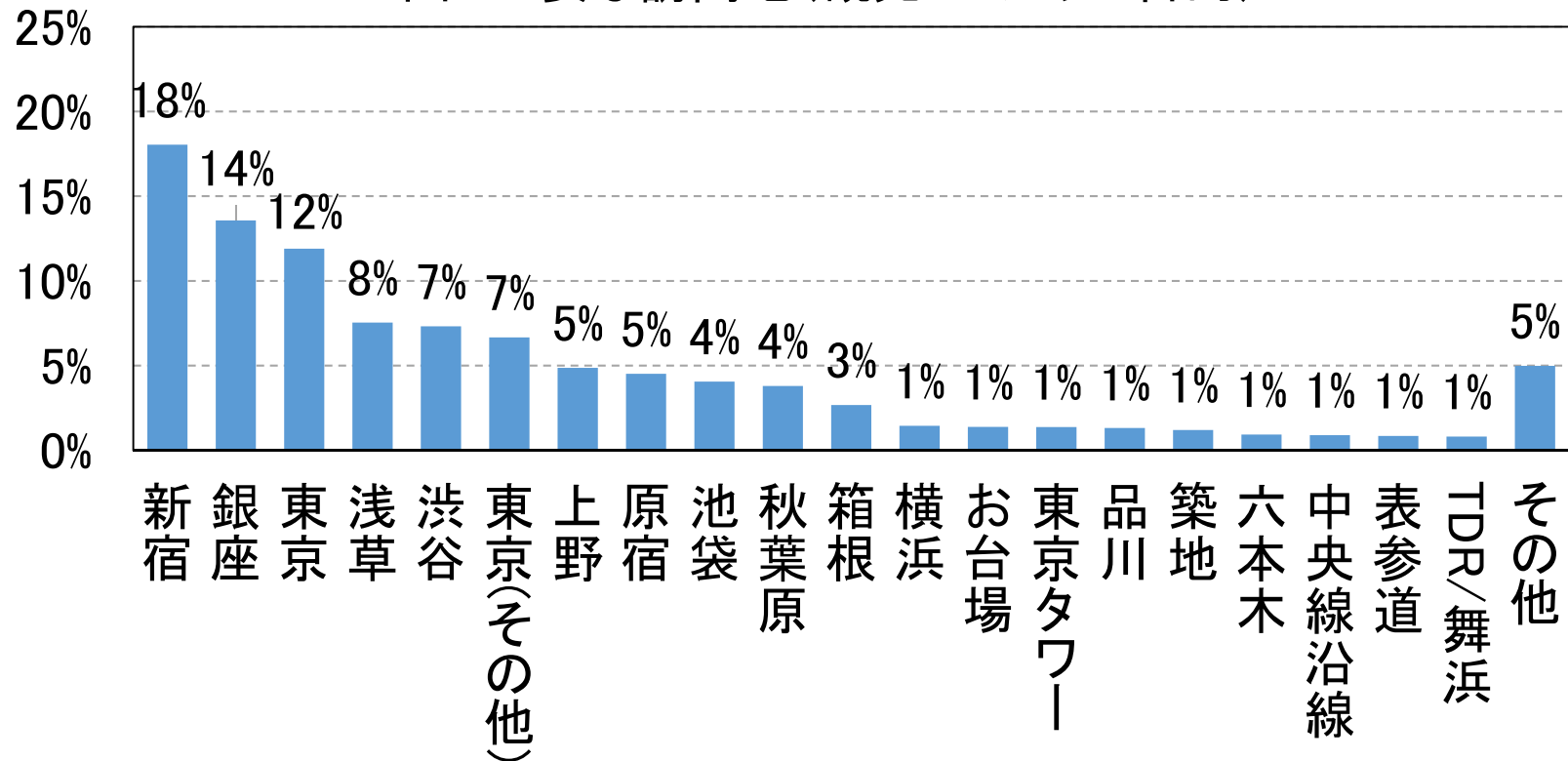
図 主要な訪問地(全目的)



主要な訪問地分布(1都3県、観光・レジャー目的)

- 全目的と比較して、浅草・池袋・お台場などが多い。
- 東京以外では箱根・横浜・ディズニーリゾートが高い結果となった。

図 主要な訪問地(観光・レジャー目的)



• 平均宿泊日数について

- 全目的では8.3泊、観光目的では4.6泊となった。
- 観光より、業務目的などの方が長期滞在傾向にある。

• 訪問率について

- 全目的が48%、観光目的が42%となった。
- 業務目的を含めた方が、東京に来る傾向となった。

• 1日あたり訪問箇所数について

- 全目的が1.2箇所、観光目的が1.3箇所となった。
- 回答内容に制限があるため、一部を集計対象外とした

• 訪問地分布について

- 全目的と観光目的で、浅草・秋葉原・赤坂・TDR/舞浜などの分布割合が変化した。

目次(インバウンド)

1. 訪日外国人と鉄道利用の調査背景
2. 既存の調査/統計の整理
3. 訪日外国人の旅行実態
 - ① 東京圏における宿泊状況（宿泊旅行統計調査）
 - ② 東京圏を訪れる外国人の規模（国際航空旅客動態調査）
 - ③ 主要な訪問地と一日の行動回数（訪日外国人消費動向調査）
4. 訪日外国人の訪問者数と鉄道利用者の概数の推計
5. 今後の課題

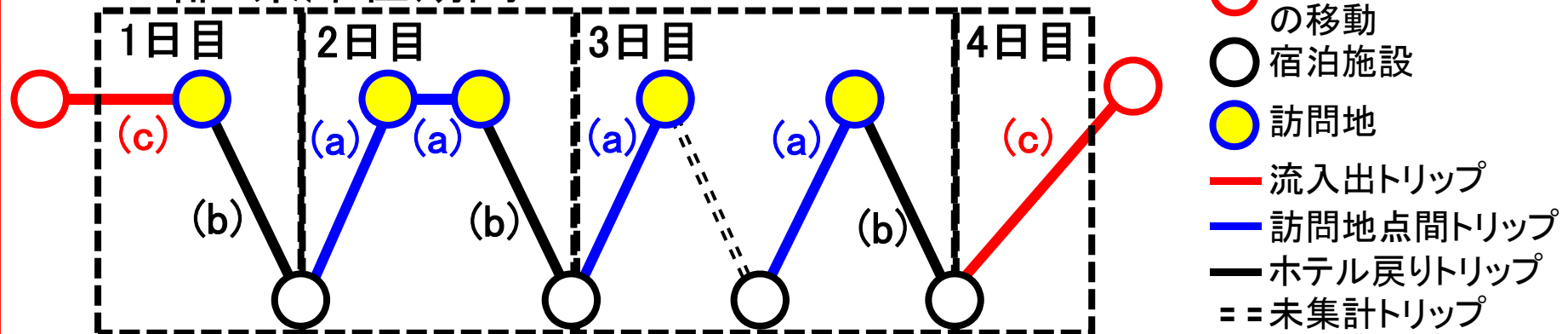
訪日外国人の行動回数について

1都3県内における交通量(トリップ数)を推計

1日の平均訪問地数、ホテルへの戻り、最初と最後に空港・新幹線駅との移動を考慮して交通量(移動回数)を推計する。

<訪日外国人の移動イメージ例>

1都3県滞在期間



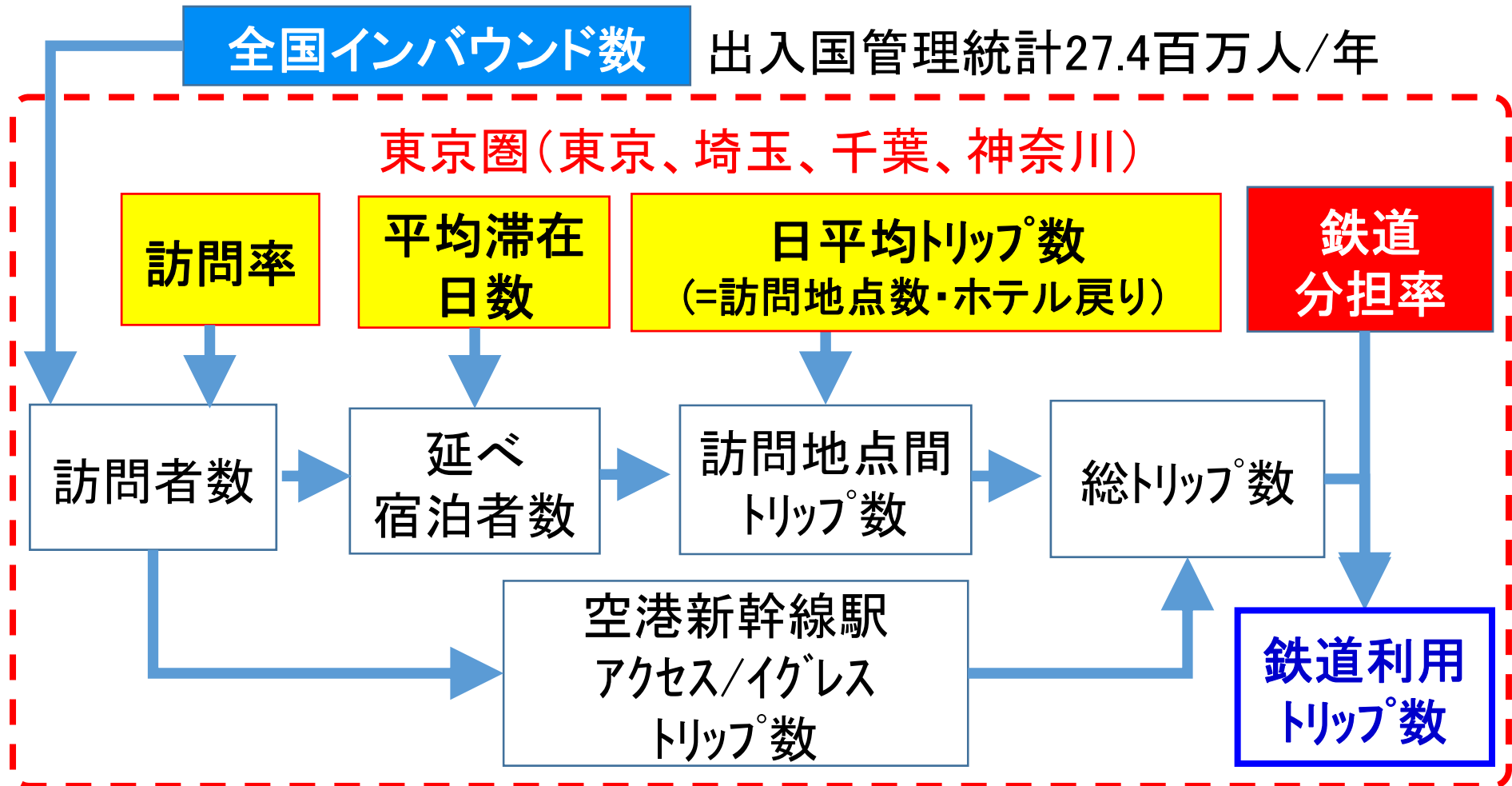
(a) 訪問地交通量

(b) ホテル戻り交通量

(c) 空港・新幹線駅との交通量

1都3県の総交通量 = (a) + (b) + (c)

訪日外国人の行動回数について



- 宿泊旅行統計調査、訪日外国人消費動向調査(観光庁)、国際航空旅客動向調査(航空局)により設定
- 東京圏パーソントリップにより設定(条件あり)

1都3県の訪日外国人延べ宿泊者数について（全目的）

訪問者率と滞在日数から**1都3県の延べ宿泊者数**を推計すると、延べ宿泊者数は**約6千万～1億人泊/年**となる。

項目	1	2	3	4	5	6
1都3県 訪問者数 (百万人/年)	年間入国者数 27.4 (出入国管理統計)				13.0 (航空)	
1都3県 訪問率 (%)	訪問者数 48.0 (消費)	1,315万人 48.0 (消費)	訪問者数 41.3 (航空)	1,132万人 41.3 (航空)		
平均滞在 日数(泊)	5.4 (航空)	8.3 (消費)	5.4 (航空)	8.3 (消費)	5.4 (航空)	8.3 (消費)
合計 (百万人泊/年)	71.0	最大値 109.2	最小値 61.1	93.9	70.2	107.9

1都3県の訪日外国人総交通量について(全目的)

平均訪問箇所数、ホテル戻り、1都3県流入出を考慮した総交通量は、約1億6千万～2億7千万トリップ/年となる。

ケース	延べ宿泊者数 (百万人泊/年)	1日平均 訪問箇所数 (トリップ/人日)	訪問点間交通量 (百万トリップ/年)	ホテル戻り 交通量 (百万トリップ/年)	1都3県流入出 交通量 (百万トリップ/年)
最大値	109.2	1.2	131.0	109.2	26.4
最小値	61.1		73.3	61.1	22.6



ケース	総交通量(百万トリップ/年)
最大値	266.6
最小値	157.0

1都3県の訪日外国人鉄道利用について（全目的）

東京圏パーソントリップ調査から算出した機関分担率から交通量を推計する
 ※1都3県のうち、私事目的かつ自動車保有なしのサンプルから算出

➤ 1日の外国人鉄道利用は全体利用から**1.4～3.6%の割合**

東京圏パーソントリップ調査による鉄道分担率（平成20年）

全機関交通量	鉄道交通量	鉄道分担率
487,718人/日	389,976人/日	80%



1都3県の鉄道利用者数の推計結果

ケース	外国人 総交通量 (百万/年)	鉄道 分担率	外国人 鉄道利用 トリップ (百万/年)	外国人 鉄道利用 トリップ (万/日)	対センサス 割合	対東京圏PT 割合
最大値	266.6	80%	213.3	58	3.6%	2.3%
最小値	157.0		125.6	34	2.2%	1.4%

※大都市交通センサス 鉄道利用1,600万/日

※東京圏パーソントリップ 鉄道利用2,500万/日

山手線利用者数（日本人）との比較について（目的別）

- 観光実態より、**東京圏内移動は山手線内側エリアが主と推定**
- 大都市交通センサスにおける**山手線内**と比較
- 観光目的についても同様に推計して比較
- **山手線内側エリアにおいては、外国人観光客の割合は全体の3~4%**

1都3県の鉄道利用者数と山手線利用者数との比較

目的	ケース	外国人 鉄道利用 トリップ (万/日)	合計鉄道利用（万/日）	
			山手線内	山手線内 (目的別) 比較割合
全目的	最大値	58	650	8.9%
	最小値	34		5.2%
観光	最大値	26		4.0%
	最小値	24		3.4%

※大都市交通センサス鉄道利用1,600万/日 うち山手線内650万/日（約41%）

目次(インバウンド)

1. 訪日外国人と鉄道利用の調査背景
2. 既存の調査/統計の整理
3. 訪日外国人の旅行実態
 - ① 東京圏における宿泊状況（宿泊旅行統計調査）
 - ② 東京圏を訪れる外国人の規模（国際航空旅客動態調査）
 - ③ 主要な訪問地と一日の行動回数（訪日外国人消費動向調査）
4. 訪日外国人の訪問者数と鉄道利用者の概数の推計
5. 今後の課題

- 課題

- 目的地と出発地の繋がりを明確にするため、都市間の流動について検討が必要。
- 1人の連続した行動内容についての検討が必要。

東京圏における訪日外国人の観光と鉄道利用の実態

ご静聴、ありがとうございました。



JTTRI
Japan Transport and Tourism Research Institute